

災害統計グローバルセンター(GCDS)・災害統計ユニット共同でグローバルリスクアセスメントに関する研究発表会を開催しました(2018/11/14)

テーマ：災害統計の整備、国際連携

場所： 災害科学国際研究所 1階 会議・セミナー室

2018年11月14日(水)、災害統計グローバルセンター(GCDS)・災害統計プロジェクトユニット共同でグローバルリスクアセスメントに関する研究発表会を開催しました。当該研究発表会では、国連国際防災戦略事務局(UNISDR)の元高官であるMr. Andrew Maskrey、及び災害リスク分析の専門家であるDr. Mabel-Cristina Marulanda(チリからSkypeを用いて発表)から、それぞれ”Risk metrics for sustainable development”、”How the Global Risk Model is produced”と題した基調講演を頂いた後、フロアを交えた活発な議論が行われました。また、災害統計に係るオープンデータの活用についても、基調講演の中で具体的な報告・説明があり、今後災害統計に関する研究を推進する上で、大変有益な研究発表会になりました。

災害統計グローバルセンター(GCDS)・災害統計プロジェクトユニットでは、引き続き災害統計・災害科学に関連した学際的・分野横断的な研究を進めるとともに、来年度以降も研究発表会を開催して、研究成果を広く社会に発信していきます。



研究発表会の様子

文責：佐々木大輔(情報管理・社会連携部門)